

育英友の会会報 No.126号	<h1>会 報</h1>	発行者 田中 知朗 編集者 窪田 安一 発行所 育英友の会 日本学生支援機構政策企画部広報課内 E-mail: refer-itomo@ikueitomonokai.jp
		
2016年8月6日		

育英友の会創立60周年記念式典挙行

育英友の会は1956年11月10日に産声をあげました。そうです。今年友の会は60歳。人間に例えると還暦の年なのです。それを記念して5月28日(土)に国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)で、育英友の会創立60周年記念式典を挙行了しました。



式典では、田村理事長、曾我部元理事長、都筑元事務局長のご挨拶とご祝辞に続き、永年育英友の会活動に貢献されました下記の方に感謝状を贈呈いたしました。

特別感謝状贈呈者：小田島明德、高桑稔、楚山雄二、礪永栄、窪田安一

感謝状贈呈者：曾我部國久、田中知朗、大久保顕治、飯田梨良、相川正幸、福永智史
 長岡明伸、中川裕樹、西森集、小倉巧、工藤卓哉、伊井昌彦
 高井健太郎、坂下寿里、山口香梨、松山憲司、富永勝裕、石中安明
 池田敦、笠尾稔、前畑良幸 (敬称略)

また、懇親会を関東支部大同窓会と合同で行い、育英友の会の現役者、先輩、新しい仲間と楽しい交流を持ち、今後も育英友の会活動を盛り上げることを誓い合いました。



育英友の会本部の新体制

育英友の会では田村規千代さんが理事長を勇退され、田中知朗さんが新理事長に就任されました。田村さんからは勇退のご挨拶、田中さんからは就任のご挨拶、理事、事務局委員からは、抱負をいただきましたので、ご一読いただきたく存じます。

友の会よありがとう！

前理事長 田村規千代

昭和33年3月、時の理事である古村英好氏「故人」の代理で理事会に参加した。会議での議論がすさまじかったことが今でも脳裏に強く残っている。この時から育英友の会に係わるようになった。

初めのうちは、富山支部（当時は、都道府県別の支部構成）での活動が中心であった。

例えば、僻地の小学校を訪れ、昼は写生会で交流を深め、夜になると地域の方々の支えで借りてきた重い映写機で映写会をしたりして交流を深めていた。また、時には会員の交流として、軽登山やハイキングをしたりしていた。

ところで、毎月の定例会では、新しく入会してくる会員が少ないので何とかしようということになり、私費で100枚分の葉書を提供して、出席者が分担して知り合いの方々へお誘いのハガキを送り、新会員の獲得に努めたこともあった。

この結果、毎年新しい会員が2～3名ずつ増えて、その効果を得ることができた。小生は数年にわたり私費で葉書を提供して新会員増に貢献できたのではないだろうか。

昭和48年度の「奨学生の集い」は、当時全国規模として一か所「国立能登青年の家」で100人規模のものが開催された。これは、北信越地区の奨学生が集う「集い」であったが、98名もの奨学生が集まり3泊4日にわたり5班編成で進められたのだが、その運営にあたるスタッフ（今で言う開催委員）は全国各地から協力していただき、充実した内容で過ごすことができた。このような機会を得て、県外各地の方々と交流を深めることができた。

昭和50年度に本部の理事に選ばれてから、本部の運営に係わるようになり、県外の友の会会員と交流がさらに深まった。私が本部理事になってからの思い出は、数多くのことが思い出されるが、その中でも「学資保険の実施」であったり、「修学支援金制度の実施」であったり本会の「NPO法人化検討」であったりした。

これらは、ある程度の成果を上げることができたが、長続きする事なく終わってしまった。

現在まで続いている「奨学生の集い」（昭和41年度～平成16年度）や「留学生・奨学生地域交流集会」（平成17年度～現在）は、両方併せて50年間も続いている唯一の事業と言える事だろう。今後も継続して欲しいものである。

終わりに、本会では、「設立準備拡大委員会宣言」を忘れずに進めていただければ幸いである。表題に掲げた、「友の会よありがとう！」は、長年お世話になった、さらにご協力戴いた全国各地の方々に対しまして「本当にありがとう！」とお礼を申し上げたいと思う。

理事長就任のご挨拶

理事長 田中知朗

このたび、理事長に選任されました田中知朗です。田村前理事長の後を引き継ぎ、務めさせて頂くことになりました。育英友の会を取り巻く環境が厳しさを増す中での就任となり、その重責に身が引き締まる思いがいたします。経験も浅く本部での活動歴も短い若輩者ですが、会の発展に微力ながら尽くしてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

私が育英友の会の活動に初めて参加して以来、30年が経ちました。この間、当会をめぐる状況には大きな変化が生じております。一つは当会の設立趣旨にも関わる「日本育英会」の「日本学生支援機構」への改組と、それに伴う事業連携のあり方、また一つは上記にも関係しますが、長きにわたり継続してきました事業「奨学生の集い」の「留学生・奨学生地域交流集会」への衣替え。また入会促進活動の制約による会員数の漸減も挙げなくてはなりません。さらには奨学金制度に対する社会や学生自身の意識の変化なども肌身感じてきたところであります。

そうした中で、私共理事会もこれまで、規約改正による組織のスリム化や意思決定の迅速化、経費の大幅な圧縮、規程見直しによる事務作業の簡素化、学生会員の積極勧誘のための制度創設などに積極的に取り組んできました。その成果もあり、運営状況は徐々に好転しつつあります。しかしながら長期に渡って維持発展させていくには、会員の皆様のご協力が欠かせません。これからも引き続き、支えてくださいますよう、この場をお借りしてお願い申し上げます。

一方で、各支部において中堅やベテラン、そして学生諸君を含む若手スタッフたちにより活発に活動が続いていることはたいへん心強いことです。ここ数年、「全国交流のつどい」に出席し、その意を強くしております。この事業は全国の仲間が一堂に会し、交流や意見交換を行ってスキルアップと各支部の課題解決を図ることを目的として開催しておりますが、どの支部でも真摯に活動に取り組むスタッフ達には心を打たれることであります。そうした仲間たち、さらには当会を支えて下さる会員の皆様一人ひとりの思いを大事にしていきたいという気持ちでいっぱいです。

奇しくも創立60周年という節目の年に理事長の大役を仰せ遣うことになりましたが、諸先輩方が築いてきた理念と実績をしっかりと引き継ぎながら、現代における当会の存在意義や社会的使命を今一度見つめ直し、これからの事業に結び付けて行きたいと考えております。

副理事長・事務局長 小田島明德

引き続き事務局長を務めます小田島です。育英友の会では、主に預貯金等の財産管理をしています。支部費の振り込みや地域交流集会の費用振り込みも担当しています。友の会の財産もついに1500万円を切りました。現状ではあと9年ほどで蓄えを使い果たすことになります。事業費の確保が喫緊の課題です。よろしくお祈りいたします。

副理事長・財務理事 窪田安一

私は育英友の会に関わってもう30年以上になります。支部長、地域交流集会開催委員長、総務理事、広報理事、事業理事、財務理事を数々の役職を経験させていただきました。今年度より再度財務理事を拝命いたしました。友の会財政の健全化を実現し、支部活動をしっかりフォローして、育英友の会活動を発展させる所存でございますので、よろしくお祈りいたします。

総務理事 鈴木優介

初めまして。この度5月28日付で総務担当理事に就任しました、鈴木優介と申します。

北海道支部を2012年度から2年間、昨年度までは関東支部に所属しておりました。総務は正会員数向上や本部(支部)役員の育成、規約規程要領の制定・見直しなど課題が山積みですが、他の理事と共に解決できるように努めていきます。これは理事就任してから決めたことですが、ボランティアとして運営するために必要なことを勉強していきたいと考えています。

当会の組織・会議運営や会員管理、広報全般等、総務の業務は幅広い知識が求められるからです。今まで工学分野を勉強してきた私にとっては取り掛かりにくい分野ではありますが、挑戦していく意思で業務に励んでいきたいと考えています。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

事業理事 大久保顕治

育英友の会に関わるようになり早15年が過ぎた。その中で交友関係が広がることに加え、組織を一から立ち上げる充実感や、メンバーとチームを組んで事業をこなしていく達成感、もうすぐ社会に出る学生を対象に実りある出会いやきっかけを提供するという社会的な役割にやりがいを感じるようになっていった。

一方で運営の中心に関われば関わるほど、一人空回りすることもある。また社会的に責任ある世代となり、自由になる時間がますます減りつつあるのも事実である。ただ、これまでも何度も心が折れそうになりながら、なんとかここまで継続出来たのも周りのメンバーのお蔭である。それら全てで自分の成長に繋がっていくものだと感じている。

新たな体制下で理事を引き受けるにあたり、出来る限りの尽力をしていきたいと思う。この15年間で、組織の置かれた環境や私の考え方は徐々にではあるが確実に変化してきている。これからの友の会がどうなっていくのか、怖いような楽しみなような、不思議な気持ちである。

事務局委員 西森集

事務局委員として、2年目を迎える西森と申します。

現在は、特にこれといったタスクは与えられていませんが、ボランティア活動における本質ともいえる「出来る事を、出来る範囲で、精一杯やる」をモットーとして、本会の活動を陰ながら支えるために地元、北海道をはじめ、関東並びに東海支部の運営に関して、サポートを続けています。

これからも、本会が更に発展するために、出来る範囲で精一杯サポートし続けていきたいと思っていますので、引き続き宜しくお願いいたします。

事務局委員 村上奈津子

このたび事務局員に就任いたしました村上奈津子です。短い間でしたが財務理事を経験させていただき、まさか今回は会員皆様の大変な会員名簿管理を任せられるとは夢にも思っていませんでした。皆さまの信用を裏切らず、銀行員生活で培った正確さをもって正しい判断をしながら取り組みたいと思います。

0才女の子、5才男の子二人の子どもを育てながらのかかわりになりますが、信用第一に務めていきたいと考えています。家族ともどもよろしくお願いします。

事務局委員 長岡明伸

私は、過去(2003年頃まで)にスタッフをしていましたが、このたび約13年ぶりに事務局委員という形でまた協力させていただくことになりました。

私が参加していた当時と育英友の会を取り巻く環境やスタッフの顔ぶれなど大きく変わっていますが、こうしてまた機会を与えていただきうれしく思います。

事務局委員という陰でのサポートとなりますが、少しでも現場のスタッフの方々の負担を軽減できるように活動を支えていただければと考えています。どうぞよろしくお願い致します。

事務局委員 小倉巧

私が友の会に関わったのが今から20年位前の大学生の時。卒業後は数日程、友の会から離れていましたが現在の田中理事長と偶然再会したことから再び関わることになりました。

仕事の関係で友の会の行事には殆ど参加できず、会員の皆さんとお目にかかることも殆どないと思いますが、北海道支部のホームページの管理や大きなイベントである交流集会のポスターのデザインなど裏方部分でお手伝いさせていただいております。

今後も裏方部分で関わることになろうかと存じますが会員の皆さんが友の会に参加して良かったと思えるような会であって欲しいと願うばかりです。

事務局委員 大森有資

友の会スタッフ歴は13年になります。毎年新しい学生と出逢えることは、本当に刺激的で、学ばせていただくことが、たくさんございます。この交流集会が1つのきっかけになれば、と思っております。適度に頑張っ参りますので、宜しくお願いいたします！

事務局委員 工藤修一

このたび事務局委員を拝命致しました、工藤修一と申します。これまで様々な活動を通じて私自身多くの経験をさせていただきました。今後、学生や卒業生、関係者の皆様とともに育英友の会の発展に貢献できればと思います。皆様方のご指導ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

事務局委員 石中安明

事務局委員をさせていただきます石中安明です。

私が、育英友の会に関わり始めた頃から民間企業の助成金があります。私としては、なんとかその助成金の獲得を微力ですが目指します。理事長副理事長はじめ事務局委員、支部長の皆さんの英知を拝借し寄付金増と、育英友の会の会員を一人でも多く増やして行けたらと思っています。

事務局委員として、今年も頑張っ参りたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

家族会員制度・自動引き落としのお勧め

育英友の会では、年会費を納めてくださっている方に、家族会員制度・自動引き落としをお勧めしております。

- ・旦那さんが年会費を納めて、奥様も年会費を納めないといけないと思っていられっしゃる方
 - ・毎年、年会費を郵便局の払込取扱票（振込用紙）で振り込んでいただいている方
- 疑問に思っていることは、下記にお気軽にお問い合わせください。

育英友の会 E-mail: refer-itomo@ikueitomonokai.jp

大会・理事会・支部長会議のご報告

2016年5月28日（土）～29日（日）、東京都渋谷区の国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて、2016年度育英友の会大会、理事会、支部長会議を執り行いました。

◎2015年度活動状況

- ①総務・事務局
 - ・会員管理（自動引き落とし・会員証など）
 - ・会報、支部報の発行
- ②事業関係
 - ・平成27年度留学生・奨学生地域交流集会について
- ③財務関係
 - ・2015年度支部配分金について

◎2016年度事業計画

- ①総務・事務局
 - ・規程、要領の改訂について
 - ・2016年度人事決定（下記のとおり）
 - ・会報、支部報の発行
 - ・創立60周年記念式典について
- ②事業関係
 - ・平成28年度留学生・奨学生地域交流集会について
- ③財務関係
 - ・2016年度 予算計画

・育英友の会本部体制

- 理事長 : 田中知朗
副理事長 : 小田島明德（事務局長兼任）、窪田安一（財務理事兼任）
事務局長 : 小田島明德
理事 : 鈴木優介（総務担当）、大久保颯治（事業担当）、窪田安一（財務担当）
事務局委員 : 西森集、石中安明、飯田梨良、村上奈津子、加瀬汐美、小倉巧、大森有資
工藤修一、笠尾操、長岡明伸
監事 : 高桑稔、楚山雄二、礪永栄

友の会あてメールへのお願い

育英友の会あてに、日本学生支援機構の奨学金についての相談、問い合わせのメールをいただくことがあります。

申し訳ございませんが育英友の会は、日本学生支援機構とは別の団体です。

奨学金に関するお問い合わせについては、日本学生支援機構の奨学事業相談センター（0570-666-301）へ直接お問い合わせください。育英友の会からの回答はご容赦願います。

友の会への問い合わせ

育英友の会事務局には、常駐する関係者がおりません。申し訳ございませんが、お問い合わせなどは、下記までメールでお願いします。

E-mail: refer-itomo@ikueitomonokai.jp

ご住所やお名前が変わられた方も、こちらにお知らせください。

育英友の会各支部ホームページアドレス

育英友の会本部ホームページ	http://www.ikueitomonokai.jp
北海道支部	http://www.ikueitomonokai.jp/hokkaido
東北支部	http://www.ikueitomonokai.jp/tohoku
関東支部	http://www.ikueitomonokai.jp/kanto
北信越支部	http://www.ikueitomonokai.jp/hokushinetsu
東海支部	http://www.ikueitomonokai.jp/tokai
近畿支部	http://www.ikueitomonokai.jp/kinki
中国四国支部	http://www.ikueitomonokai.jp/chushikoku
九州支部	http://www.ikueitomonokai.jp/kyushu